

下呂市立金山病院のこれから 広報げろ 2008.1

下呂市立金山病院のこれから

金山病院は公立病院として下呂市をはじめ近隣の地域の医療に責任を果たさなければならないと考えています。病院の役割は急性期、慢性期患者の入院治療、救急外来、一般外来診療を担うことで地域の生活を医療の面で支えることにありと自負しています。特に生活を直撃するがん、心臓病、脳卒中は、生活に密着した治療が必要で、その診断はもとより、その治療についても手術を含めてより高次機能を持つ病院と協力しながら積極的に対処していく必要があると考えます。これからの金山病院の機能について考えてみましょう。

◎急性期（一般）病床：病院の最も重要な業務は入院治療です。急性期疾患を受け入れ早期に治療できることは、地域で安心して生活できる条件と考えます。

◎療養病床：地域の高齢化が進行する中で医療を必要とする慢性期疾患患者が増えています。県病院の高次機能を支援し慢性期患者を受け入れるためにも南飛騨の療養病床はなんとしても維持しなければなりません

◎手術：胃がん、大腸がん、乳がんなどの治療は手術が基本であり、金山病院でもがんの手術に力を入れています。また、外科的救急においても手術はつきものです。がん手術に十分対応できる知識と技術がなければ、緊急手術も困難です。医師確保のためにも手術ができる体制は重要で医師派遣の条件にもなっています。

◎救急：救急の重要性は当事者になってみなければわかりにくいものです。病院はいざというときのためにあることは確かです。しかし救急の維持には多大の経費がかかります。個人の都合による時間外受診はできるだけ避けていただきたいものです。

◎人工透析：慢性腎不全は確実に増えています。近くに透析施設があることは透析者の生活支援に欠かせません。

◎リハビリ：病院では理学療法士を増員し在宅訪問リハビリ体制を強化し在宅療養を支援します。

◎ドック、検診業務：健康管理は自己責任でという時代が来ています。しっかり健康管理しないと保険料が値上げされることとなります。金山病院はドックや検診で健康管理のお手伝いをします。また、保険診療収入が減少するなかで検診料は貴重な病院維持費となっています。

◎マンパワー：責任を持って病院を運営するためには医師も看護師も足りません。病院で働ける看護師さんいませんか。

◎施設環境：受診者に選ばれ、医師が働く病院として選ぶためにも施設の整備が急務で病院立替計画が進行しています。

◎病院運営：病院は皆さんからいただく受診料によって運営されています。健康を守るためにも効果的な治療を受けるためにも金山病院をご利用ください。

下呂市立金山病院院長 古田智彦